

令和6年度 大阪府立槻の木高等学校 第3回 学校運営協議会

令和7年2月8日 10:00～
大阪府立槻の木高等学校 会議室

委員

会長 渡辺 将史(本校 PTA 会長)

副会長 安田 信彦(高槻市立第一中学校校長)

委員 瓜生 彩子 宮坂 政宏

【欠席】 田中 隆夫 官田 光史

事務局

青竹 二郎(学校長) 水井 理弘(事務長)

小川 大樹(教頭) 江菅 純一(首席) 岡田 英次(学習指導室長)

【欠席】

井上 公彦(首席)

本日実施している、「土曜講習の見学」および「学校説明会の見学」

次第

Ⅰ 令和6年度の学校経営計画と達成状況について

青木校長から令和6年度の学校経営計画と達成状況について説明がありました。学校教育自己診断の結果分析では、アンケートの取り方が過去3年間で変化し、今年は Google Form と紙面の両方を使用したことが報告されました。教員の研修参加や教科間の話し合いが減少していることが指摘され、これは教員の多忙さが原因と分析されました。また、読書率が大幅に低下し、21.7%まで落ち込んでいることも懸念事項として挙げられました。

○ 学習時間と部活動の両立に関する課題

学習時間については、目標値(平日80分、休日110分)に対して実際は平日59分、休日85分と下回っており、部活動参加率の増加や塾通いの増加が影響していると分析されました。また、部活動参加率は82.4%と前年の90%から減少し、学習と部活動の両立ができていていると感じる生徒も75%から66%に減少していることが報告されました。特に1年生において両立の難しさが顕著であることが指摘されました。

○ 遅刻と生徒指導に関する報告

遅刻については、昨年の1500件から減少傾向にあるものの、目標の1000件達成は難しい状況であることが報告されました。生徒指導については、「納得できる」と感じる生徒の割合が71.4%と、目標の75%には届かないものの、前年より微増していることが説明されました。

○ 広報活動と教員の働き方改革

広報活動については、ホームページのアクセス数が想定より少ない状況であり、中学生や在校生にとってホームページが身近なものではなくなっていることが指摘されました。そのため、Instagramなどの SNS を活用した新たな広報戦略を検討していることが報告されました。また、教員の働き方改革については、月 80 時間以上の時間外勤務をしている教員が多く、配慮が必要となる生徒への対応など、想定外の業務が継続していることが課題として挙げられました。

2 授業アンケートの結果報告

授業アンケートの結果について報告があり、「先生は生徒の意見や要望を取り入れ授業改善に生かしている」という項目の評価が向上していることが説明されました。また、黒板の見やすさに関する生徒からの意見に対応し、改善が進んでいることも報告されました。

3 令和 7 年度学校経営計画の説明

令和 7 年度の学校経営計画について説明があり、「良い点を残しながら新たな槻の木高校への進化」という表現が追加されたことが報告されました。府立学校の多くの学校で定員割れされる中で、学校の魅力発信と教員の働き方改革を両立させる必要性が強調されました。また、学習と部活動の両立に関する項目の位置づけを変更し、公式 Instagram を活用した広報活動の強化が計画されていることが説明されました。

安田副会長からは、槻の木高校の特色として「当たり前のことを当たり前に行うことの価値が評価されました。また、創造的な改革を行うためには前提を疑い、価値観を見直す必要があるとの意見が出されました。さらに、早期の入試実施については中学校教育への悪影響を懸念する声も上がりました。不登校対策としては、適応教室の設置や授業改善が効果を上げているとの報告がありました。

宮坂委員からは、部活動と学業の両立について、日程の調整や整理の必要性が指摘されました。特に土曜講習や課外活動と部活動の日程が重なることで生徒が選択を迫られる状況を改善すべきとの提案がありました。また、学校教育自己診断のアンケート回収率向上のためにホームルーム時間を活用する提案や、海外研修の推進に関する情報提供がありました。

渡辺会長からは、Instagram の運用について、日常的な学校生活の様子を発信することの重要性や、リール動画の活用などの具体的な提案がありました。また、槻の木高校の良さが世間に十分に伝わっていないことへの懸念が示され、卒業後に「槻の木でよかった」と思えるような教育の重要性が強調されました。

4 次年度の学校運営協議会日程と閉会

次年度の学校運営協議会の日程について、第 1 回は 6 月 18 日(土)、第 2 回は 10 月 25 日(土)、第 3 回は 1 月 30 日頃の公開授業に合わせて開催する予定であることが伝えられました。教頭先生から、3 回目の日程については早い段階で連絡する旨が伝えられ、会議は終了しました。